

# 電氣通信施設詳細設計照査要領（案）

平成 31 年 3 月

国土交通省大臣官房  
技術調査課電氣通信室

## 目 次

電気通信施設詳細設計照査要領（案）の概要	1
電気通信施設詳細設計照査フローチャート	4
電気通信施設詳細設計照査要領（案） 詳細項目一覧表	5

# 電気通信施設詳細設計照査要領の概要

## 1. 目的

### 1) 成果品の品質向上

社会資本整備を推進するうえで、建設コンサルタント業務の成果は、最も基礎的で重要な要素であり、その精粗が事業の完成に重大な影響を与えることになる。成果品の品質向上を図り、正確性を確保するために、本照査要領を活用することにより設計の主要事項を系統的に把握できるとともに、迅速な照査が可能となる。

## 2. 特徴

### 1) 設計の自由度の尊重

設計の自由度を尊重するため、設計マニュアル（基準）的なものではなく、設計の基本に関する事項を体系的に記載し、各事項に対応する照査の完了を一目で把握できるものとしている。従って、照査手段、諸基準等との関連をはじめとする具体の照査内容については、受注者の判断によるものとなる。

### 2) 段階的照査の実施による業務推進の円滑化

業務の主要な段階毎に、照査状況を打ち合わせ等を通して発注者に報告することを手続きとして標準化しており、これにより、設計条件等発注者からの与条件の取り違い等が発見しやすくなり、条件設定ミス等による業務の手戻り発生を防止することができる。

### 3) 設計調書の作成

基本事項の照査の結果を一覧表形式にとりまとめた「設計調書」の作成を行うことにより、設計成果の概要が容易に把握できる。

## 3. 対象工種

本照査要領の対象工種は、「電気通信施設詳細設計照査要領（案）」のとおり。

#### 4. 構成

本照査要領は、対象とする全ての工種について以下に示す内容で構成されている。

- ①詳細設計照査フローチャート
- ②照査項目一覧表 (受注者が作成し発注者に提出) 3段階(仮設構造物は2段階)の照査・報告を規定
- ③設計調書 ( " )

##### 1) 詳細設計照査フローチャート

詳細設計委託業務の契約から完了までの流れを、照査の観点から整理したものであり、受注者が実施する照査の主要な区切りと発注者・受注者双方の照査との関連を明示したものである。各工種とも基本的には同一の流れとなるため、基本フローをP4に掲載した。

##### 2) 電気通信施設詳細設計照査要領(案) 照査項目一覧表

照査フローチャートに従って、設計の主要な区切り毎に受注者が実施すべき基本的照査項目を一覧表に整理したものである。作成は主要な区切り(3段階)毎に行うものとし、作成の手順は以下のとおりとする。

- ①業務内容から判断して該当対象項目を抽出し、「該当対象欄」に○印を付す。
- ②照査を完了した項目について「確認欄」に○印及び日付を記入する。
- ③「確認資料欄」に、設計根拠を確認できる資料、各種検討書等の名称及び頁等を記入する。  
なお、「備考欄」記入の詳細については、「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照する。
- ④発注者に提出し、照査状況の報告を行う。

又、上記④の提出に際しては、必要に応じて、「確認資料欄」に記載した設計根拠を確認できる資料、各種検討書等を別添資料として添付するものとし、明確に設計根拠を把握できるものとする。

##### 3) 設計調書

業務の成果のうち主要な設計諸元、使用材料、応力計算等について、チェックのうえ、とりまとめるものである。作成は受注者が行い発注者に提出を行う。尚、各照査段階においても有効活用を図るものとする。

なお、記載様式は、発注者との協議において決定するものとする。

## 5. 用語の定義

### 1) 照査

受注者が設計業務の完了までに行う、発注条件、設計の考え方、構造細目等のチェック及び技術計算等の検算であり、本照査要領に記載された照査項目は標準的と判断する設計の基本事項である。

### 2) 照査状況の把握

調査職員が設計業務の完了までに行う、業務履行状況の把握の一部である。尚、調査職員が成果品の品質についての適否を判断するものではないので留意すること。

## 6. その他記載等にあたっての留意事項

1) 各照査段階において、確認が済んだ事項には必ず○印と日付を記入し、未確認の事項が明確になるように徹底すること。

2) 照査項目の中に、複数の確認項目がある場合（例えば関係機関協議が複数ある場合）は、必ず備考欄又は別紙を用いて確認済み項目が解るようにすること。

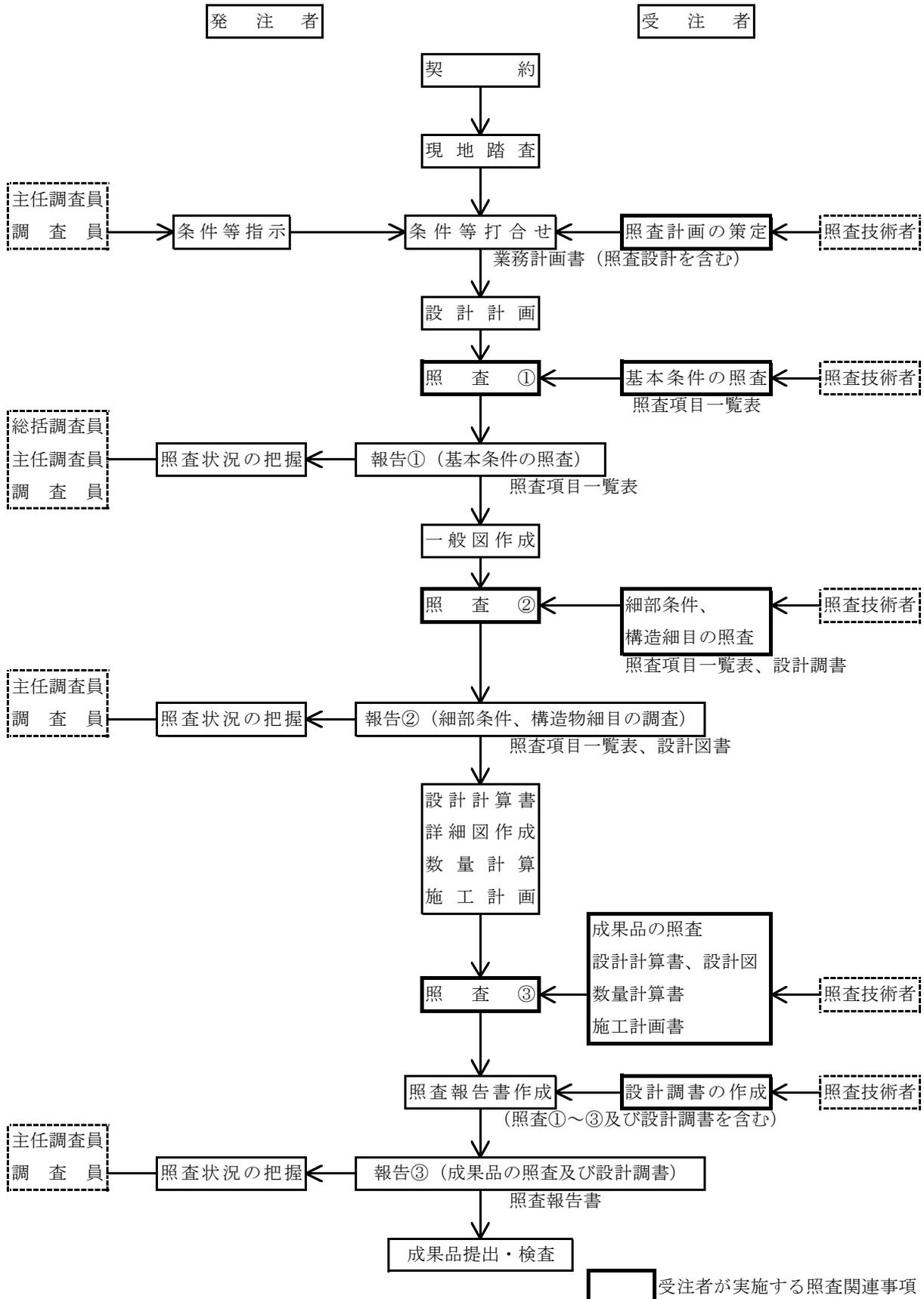
3) 照査内容の項目が漠然としており、発注者の認識と異なるおそれがあると判断する場合は、備考欄等を用いて具体の確認項目を明示すること。

4) 業務内容、規模、重要度等により、照査内容項目を追加する必要がある場合等は、各様式の最後に添付した「追加項目記入表」を利用するものとする。又、予備設計や修正設計に本照査要領を活用する場合は、必要な照査内容項目を抽出して照査すること。

5) 国土交通省発注の業務においては、照査報告書に本照査要領に基づき作成した資料を添付すること。

6) 設計調書等A4判サイズでは記入困難な場合は、A3判に拡大して記入すること。

# 詳細設計照査フローチャート



注記 ※ 照査②の段階より、設計調書の有効活用を図る。  
 ※※ 行程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。

# 電気通信施設詳細設計照査要領(案) 詳細項目一覧表

平成31年3月

受変電施設 詳細設計照査要領  
発動発電設備 詳細設計照査要領  
トンネル防災施設 詳細設計照査要領  
照明施設 詳細設計照査要領  
共同溝電気施設 詳細設計照査要領  
配電線路 詳細設計照査要領  
単信無線施設 詳細設計照査要領  
テレメータ施設 詳細設計照査要領  
警報施設 詳細設計照査要領  
多重無線施設 詳細設計照査要領  
光ケーブル経路 詳細設計照査要領  
反射板 詳細設計照査要領  
鉄塔 詳細設計照査要領  
ラジオ再放送設備 詳細設計照査要領  
CCTV設備 詳細設計照査要領  
道路情報システム 詳細設計照査要領  
河川情報システム 詳細設計照査要領  
地震情報システム 詳細設計照査要領  
土砂災害情報システム 詳細設計照査要領  
ヘリコプタ画像伝送システム 詳細設計照査要領  
ネットワークシステム 詳細設計照査要領  
河川管理施設管理システム 詳細設計照査要領  
レーダ雨（雪）量システム 詳細設計照査要領  
道路情報表示設備 詳細設計照査要領

# 受変電施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(対象業務範囲、施設利用者・運用者、設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 設備容量を整理したか。(負荷容量等の分類リスト、負荷供給電圧、入力換算と圧縮率による計算、契約容量など) 3) 受電電圧・受電方式を整理したか。(経済的な電圧選定、1回線/2回線受電など) 4) 発電電圧・規格を決定しているか。(経済的な電圧選定、単相、3相など) 5) 発電機の容量を決定しているか。(定常時負荷容量、過渡時最大電圧降下、過渡時最大短時間耐量、高調波電流負荷など) 6) 原動機の所要出力を決定しているか。(定常時負荷容量、過渡時最大電圧降下、過渡時最大短時間耐量など) 7) 冷却方式を決定しているか。(冷却塔方式、ラジエーター方式、空冷方式等) 8) 始動方式を決定しているか。(セルモータ方式、空気圧縮方式) 9) 燃料及びタンク構成を決定しているか。(主燃料槽(地下タンク、屋外タンク、屋内タンク等)燃料小出槽等を決定しているか。 10) 騒音目標値を決定しているか。(官民境界での値、消音器出力値、ラジエーター排気口値等) 11) 盤形式を整理したか。(メタルクラッド形、コンパートメント形、キュービクル形など) 12) 設置条件を整理したか。(装置の設置場所・設置方法、装置間の距離など)				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主要内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。 2) 地域条例の適合を明確にしているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	変圧器	1) 変圧器容量の算定は妥当か。 2) 変圧器のバンク数は妥当か。 3) 単機負荷容量の大きい場合の始動電流による電圧降下の検討は妥当か。 4) 将来の増容量又は改造計画等の検討は妥当か。				
2	保護協調	1) 短絡電流算出に用いる系統インピーダンスは妥当か。 2) 短絡電流の算出は妥当か。				
3	コンデンサ	1) 挿入位置は妥当か。 2) 所要コンデンサ容量の算定は妥当か。 3) コンデンサの選定は妥当か。 4) コンデンサ用配線の太さは妥当か。				
4	高調波対策	1) 高調波発生量の検討は妥当か。 2) 対策要と判定された場合の高調波抑制対策は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
5	受変電設備一般	1) 断路器の選定は妥当か。 2) 避雷器の設置場所、選定は妥当か。 3) 遮断器の選定、操作方式は妥当か。 4) 電力ヒューズの選定は妥当か。 5) 高圧負荷開閉器(LBS)の選定は妥当か。 6) 変圧器の選定は妥当か。 7) 計器用変成器の選定は妥当か。 8) 地絡保護継電器、過電流継電器、不足電圧継電器の選定は妥当か。 9) 高圧カットアウトの選定は妥当か。 10) 配線用遮断器の選定、地絡遮断器・漏電遮断器の施設場所、選定は妥当か。 11) 交流電磁接触器の選定は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
6	発電機(原動機)	1) 発電機の型式及び方式は妥当か。(励磁方式、保護形式、絶縁の種類、極数、発電電圧など) 2) 発電機容量の算定は妥当か。 3) 原動機の選定は妥当か。(形式、出力など) 4) 始動方式、始動用蓄電池容量の算定は妥当か。 5) 停電時の欠相検知対策は妥当か。 6) 燃料タンク容量は妥当か。(燃料消費率、運転時間、危険物の規制など) 7) 使用燃料の選定は妥当か。(入手の容易性、温度環境条件など) 8) 冷却方式は妥当か。(方式、冷却水容量など) 9) 消音器及び排気管は妥当か。(消音器の形状・大きさ、騒音レベル、排気管の太さなど) 10) 発電機室の換気は妥当か。(給気量、給気口面積、排気量、排気ダクト径など) 11) 発電装置の基礎は妥当か。(寸法、重量、容積、配筋方法など) 12) 発電機室の環境対策は妥当か。(大気汚染、騒音、振動など) 13) 発電機室の消防法対応は適正か。(危険物貯蔵所対応など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
7	機器配置の検討	1) 他の造営物との間隔、保守時の通路確保(安全性)は妥当か。 2) 機器配置は妥当か。(主要機器の搬入、搬出は可能か。) 3) 耐震設計は妥当か。 4) 災害等に対する配慮は妥当か。(火事、高温多湿、浸水、可燃性ガス、塵埃に対する対策、機械換気など)				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工及び初期軽負荷を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①単線結線図           ②全体システム系統図 ③燃料系統図         ④機器配置図 ⑤機器等構成図       ⑥機器据付図 ⑦機器間配管配線図 ⑧地下貯油槽外形図 ⑨給油口 BOX 外形図 ⑩消音器据付図 ⑪燃料小出槽据付図 ⑫燃料配管図 ⑬建築図               ⑭空調図 ⑮衛生図 等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 ③保守に関する検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 発動発電設備 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

本照査要領は「発動発電設備」を単独で照査する場合に適用する。

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	<p>1) 必要条件是決定しているか。(対象業務範囲、施設利用者・運用者、設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など)</p> <p>2) 発電電圧・規格を決定しているか。(経済的な電圧選定、単相、3相など)</p> <p>3) 発電機の容量を決定しているか。(定常時負荷容量、過渡時最大電圧降下、過渡時最大短時間耐量、高調波電流負荷など)</p> <p>4) 原動機の所要出力を決定しているか。(定常時負荷容量、過渡時最大電圧降下、過渡時最大短時間耐量など)</p> <p>5) 冷却方式を決定しているか。(冷却塔方式、ラジエーター方式、空冷方式等)</p> <p>6) 始動方式を決定しているか。(セルモータ方式、空気圧縮方式)</p> <p>7) 燃料及びタンク構成を決定しているか。(主燃料槽(地下タンク、屋外タンク、屋内タンク等)燃料小出槽等を決定しているか。)</p> <p>8) 騒音目標値を決定しているか。(官民境界でこの値、消音器出力値、ラジエーター排気口値等)</p> <p>9) 設備形式を決定しているか。(オープン型、パッケージ型、簡易型など)</p> <p>10) 設置条件を決定しているか。(装置の設置場所・設置方法、装置間の距離など)</p>				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	発動発電設備一般	1) 発電機の型式及び方式は妥当か。(励磁方式、保護形式、絶縁の種類、極数、発電電圧など) 2) 発電機容量の算定は妥当か。 3) 原動機の選定は妥当か。(形式、出力など) 4) 始動方式、始動用蓄電池容量の算定は妥当か。 5) 停電時の欠相検知対策は妥当か。 6) 燃料タンク容量は妥当か。(燃料消費率、運転時間、危険物の規制など) 7) 使用燃料の選定は妥当か。(入手の容易性、温度環境条件など) 8) 冷却方式は妥当か。(方式、冷却水容量など) 9) 消音器及び排気管は妥当か。(消音器の形状・大きさ、騒音レベル、排気管の太さなど) 10) 発電機室の換気は妥当か。(給気量、給気口面積、排気量、排気ダクト径など) 11) 発電装置の基礎は妥当か。(寸法、重量、容積、配筋方法など) 12) 発電機室の環境対策は妥当か。(大気汚染、騒音、振動など) 13) 発電機室の消防法対応は適正か。(危険物貯蔵所対応など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
2	機器配置の検討	1) 他の造営物との間隔、保守時の通路確保(安全性)は妥当か。 2) 機器配置は妥当か。(主要機器の搬入、搬出は可能か。) 3) 耐震設計は妥当か。 4) 災害等に対する配慮は妥当か。(火事、高温多湿、浸水、可燃性ガス、塵埃に対する対策、機械換気など)				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③機器外形図・基礎図 ④付属機器外形図・基礎図 ⑤地下貯油槽外形図 ⑥給油口BOX外形図 ⑦消音器据付図 ⑧燃料小出槽据付図 ⑨燃料配管図 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# トンネル防災施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 現地状況を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(対象業務範囲、施設利用者・運用者、設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) トンネル等級区分に応じた設置施設を整理したか。 3) 通報場所、制御場所を整理したか。 4) 配置機器を整理したか。				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1)電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	トンネル非常用施設	1) 非常電話の設置位置、間隔は妥当か。(電話機、標示灯、案内板など) 2) 押しボタン式通報装置の設置位置、間隔は妥当か。(押しボタンスイッチ、表示灯など) 3) 火災検知器の種類、設置位置は妥当か。 4) 非常警報装置の設置位置は妥当か。(警報表示板、制御装置、副制御装置、受信制御機) 5) 警報表示板の設置位置、支持柱、基礎の検討は妥当か。 6) 誘導表示板の設置位置は妥当か。 7) 伝送路・通信方式・監視制御方式等のシステム系統、電源系統及び管理項目は妥当か。 8) 消火設備の設置位置は妥当か。 9) 換気設備の設置位置は妥当か。				
2	配管・配線	1) 配管のルート、管種、配管方式、埋設深は妥当か。 2) 線種は妥当か。(心線数、電圧、負荷容量など)				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①単線結線図 ②システム系統図 ③機器間配線図(配線系統図) ④機器等配置図 ⑤機器等据付図 ⑥据付基礎図 ⑦装柱図 ⑧配管配線図 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 照明施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(対象業務範囲、施設利用者・運用者、設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 平均路面輝度・輝度均斉度・視機能低下グレア・誘導性、平均路面照度、照度均斉度を整理したか。(道路分類、外部条件など) 3) 光源、安定器を整理したか。 4) 照明器具を整理したか。(灯具配光など) 5) トンネル照明の場合、構成要素を整理したか。(基本照明、入口照明、出口照明、接続道路照明、停電時照明) 6) トンネル照明の場合、諸条件を整理したか。(設定野外輝度、設計速度、トンネル延長など)				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	照明設計	1) 灯具の配列は妥当か。 2) ポールの設置位置は妥当か。 3) オーバーハング及び傾斜角は妥当か。 4) 灯具の高さ及び間隔は妥当か。 5) 照明計算は妥当か。(照明率曲線、保守率、オーバーハングなど)				
2	配線設計	1) 電気方式、契約種別は妥当か。 2) 分岐回路は妥当か。(種類、ソケットなど) 3) 配電盤の検討は妥当か。(配線用遮断器、漏電遮断器など) 4) 電線径(許容電流、電圧降下等)は妥当か。				
3	自動制御	1) 野外輝度、時刻等による調光制御方法は妥当か。 2) 輝度計等の設置場所及び仕様は妥当か。 3) 配電盤の設置場所及び構造は妥当か。				
4	基礎	1) ポールの基礎は妥当か。(基礎形状、根入れ深さなど) 2) 標準基礎によらない場合、安定計算構造法による計算は妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①照明灯配置配線図 ②照明柱据付図 ③配線系統図 ④盤外形及び盤内結線図 ⑤引込柱姿図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 共同溝電気施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(対象業務範囲、施設利用者・運用者、設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 現場条件を整理したか。(周辺条件(水害、塩害、雷害など)、立地条件(用途(中央分離帯、歩道)、駐車可否、景観など)) 3) 電力条件を整理したか。(最寄の送電線(変電所)・配電線、送電容量・配電容量・遮断容量、引込方式(地中、架空)、工事負担金の有無等) 4) 負荷設備を整理したか。(負荷容量、設置台数、同時使用負荷、起動方式、負荷の効率・力率、重要負荷など) 5) 受電設備容量を整理したか。(設備毎の需要電力、不等率など) 6) 受電方式を整理したか。(電力会社との事前協議(受電容量、受電電圧、受電点、引込方法、保護協調など)) 7) 設置条件を整理したか。(設備の設置場所・設置方法、設備間の距離など)				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	配電盤等	1) 機器構成は妥当か。 2) 保護装置は妥当か。 3) 設置位置は妥当か。 4) 構造、形状は妥当か。(耐久性、保守点検の容易性、景観など)				
2	接地	1) 接地の対象、接地抵抗値、接地導体は妥当か。 2) 接地配線の太さは妥当か。(敷設条件による安全性、機械的強度など) 3) 接地極の埋設場所は妥当か。				
3	配電・制御設備	1) 洞道種別による機材の構造及び性能は妥当か。(将来負荷、使用電線・支持材料・防護材、位置、配線ルートなど) 2) 配線の選定は妥当か。(電圧種別、敷設条件による機械的強度、電気的特性、経済性など) 3) 配線のサイズは妥当か。(負荷設備容量、最大許容電流、電圧降下) 4) 配電方式は妥当か。(電圧降下、安全性、保守性、施工性など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
4	排水設備	1) 排水ポンプの制御方式は妥当か。 2) 排水ポンプの警報の表示項目・表示場所は妥当か。 3) 非常用ポンプの電源は妥当か。 4) 手元開閉器の設置場所は妥当か。 5) 配線は妥当か。				
5	換気設備(配線・操作)	1) 換気ファンの運転条件、始動条件は妥当か。 2) ガス洞道のガス漏れ検知器の設置位置及び運転方法を管理者に確認したか。 3) 電力洞道の温度センサーの設置位置及び運転方法を管理者に確認したか。 4) 遠方操作盤の設置位置及び操作方法を管理者に確認したか。 5) 配線は妥当か。				
6	排水設備	1) 排水ポンプ容量の算定は妥当か。 2) 排水ポンプの台数、設置場所は妥当か。 3) 排水ポンプの運転方式は妥当か。 4) 配管の管径、材質は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
7	換気設備	1) 換気量の算定は妥当か。 2) 換気方式は妥当か。 3) 摩擦損失計算は妥当か。 4) 換気ファンの選定、設置場所は妥当か。 5) 静圧調整板の設置場所は妥当か。 6) 騒音値計算は妥当か。 7) 消音装置の形式は妥当か。				
8	照明・コンセント設備	1) 照度の設定は妥当か。(照度計算など) 2) 照明器具の選定は妥当か。(防湿型、防爆型など) 3) 照明器具の取付位置は妥当か。 4) コンセントの選定、取付位置は妥当か。				
9	給水設備	1) 給水栓の設置位置は妥当か。 2) 給水量は妥当か。 3) 配管の選定は妥当か。(配管径、配管材) 4) 配管の敷設場所は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
10	標識設備	1) 標識の種類は妥当か。(案内標識、管理標識、注意標識、企業標識) 2) 標識の選定は妥当か。(材質、板厚など) 3) 標識の取付位置、取付方法は妥当か。 4) 標識の表示内容、設置場所は妥当か。				
11	防災安全設備	1) 入溝表示板の設置場所、表示内容は妥当か。 2) 警報設備の選定、設置位置は妥当か。(火災、有毒ガス、異常水位など) 3) 連絡通報設備の設置箇所は妥当か。 4) 火災報知設備の選定、対象箇所は妥当か。 5) 有毒ガス検知設備の選定、設置箇所は妥当か。 6) 油漏れ検知器の選定は妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体系統図 ②単線結線図 ③機器間配線図 ④機器等配置図 ⑤機器等据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 配電線路 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(対象業務範囲、施設利用者・運用者、設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 電源の位置、負荷の分布を整理したか。 3) 配電方式、配電電圧を整理したか。 4) 線路方式を整理したか。(架空配電線路、地中配電線路など) 5) 施設条件に適した電線・ケーブルを整理したか。				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	電線・ケーブルサイズ	1) 電圧降下の検討は妥当か。(許容範囲、計算、ケーブルインピーダンスなど) 2) 許容電流の算定は妥当か。(起動電流の大きい負荷の場合、敷設条件・周囲温度による低減率など) 3) 短絡強度の検討は妥当か。 4) 将来の負荷増設等は考慮されているか。				
2	接地	1) 接地抵抗の検討は妥当か。(接地の種類、土壤抵抗率など) 2) 接地方法は妥当か。(接地極寸法・形状、埋設深など) 3) 地絡継電器整定値の選定は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
3	電源引込設備	1) 引込柱の位置、PAS は妥当か。(電力供給会社との打合せなど) 2) 引込線は妥当か。(地中線方式、通信用線路との系統分け、浸水・不等沈下によるせん断への考慮など) 3) 引込用電線(ケーブル)の選定は妥当か。(電流容量、短絡電流など) 4) PAS の選定は妥当か。(系統短絡容量、全負荷電流、地絡保護方式、耐塩強度など)				
4	架空配電線路	1) 地上高、離隔距離、電線の種類・太さは妥当か。 2) 弛度、弛度張力は妥当か。(電線の安全率、風圧荷重の適用区分など) 3) 支持物の選定は妥当か。(種類、強度など) 4) 基礎の選定は妥当か。(安全率、土質係数など) 5) 支線の適用は妥当か。(取付箇所、強度、基礎材など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
5	地中電線路	1) 地中電線路の選定は妥当か。(ヒューム管、鋼管、トラフ、FEP、多孔陶管など) 2) 管寸法の選定は妥当か。(占有率など) 3) 耐震設計は妥当か。 4) ケーブルの許容電流は妥当か。(敷設条件など) 5) ハンドホール・マンホールの選定は妥当か。(耐荷重、形状、寸法など)				
6	屋内・屋外配線	1) 幹線の配線は妥当か。(配線方式、電線の太さ、電圧降下、短絡許容電流、将来の負荷増など) 2) 分岐配線は妥当か。(電灯/コンセント回路の分離、許容負荷電流、漏電遮断器の遮断電流値、配線離隔距離、ケーブル支持間隔、接地など) 3) 配管は妥当か。(配管種別、予備配管、プルボックスの大きさなど) 4) ダクト、ラックの選定は妥当か。(種類、段数、占積率、ケーブル許容電流など)				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①配電線平面図 ②配電線経路図 ③建柱図 ④装柱図 ⑤配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 単信無線施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 現地状況を把握したか。(地形、立地条件等) 2) 電源の供給場所を把握したか。 3) 環境状況を把握したか。 4) 周辺の状況を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(設備の整備目的、既存基地局のサービスエリア並びに新設基地局の必要とするサービスエリア、使用周波数及び運用開始時期など) 2) 机上における概略の基地局設置場所及び制御方式は決定しているか。 3) 基地局装置の概略仕様は整理したか。 4) 机上計算によるサービスエリアを把握しているか。 5) 使用周波数帯の同じ電波によりサービスエリアを測定し、サービスエリアの詳細把握をしたか				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	システム機能	1) 災害時等に有効に機能するための対策は妥当か。(隣接地方整備局、防災相互通信波など)				
2	置局計画の設計	1) 設置場所は妥当か。				
3	制御方式の設計	1) 制御方式は妥当か。(V-μ中継、V-V中継など)				
4	混信妨害の対策	1) 混信妨害対策は妥当か(同一周波数混信、スプリアス、レスポンス、感度抑圧妨害、相互変調妨害、側帯波分布、送信機雑音など)				
5	無線局の設計	1) 無線局としての条件は妥当か。(建物の構造、室内のレイアウト、電源空中線柱など)				
6	避雷対策の設計	1) 避雷対策の条件は妥当か(避雷設備、設置など)				
7	電波防護の対策	1) 電波防護の条件は妥当か				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(回線設計) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
5	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
7	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
8	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
9	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# テレメータ施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(テレメータ予定局の位置、データ種類、必要桁数、監視処理方法、システム全体計画など)				
5	技術動向確認	1) システムに関連する技術動向の確認をしたか。(関連法規、政令、省令、標準等)				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当 対象	照査	
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	観測の種類	1) 観測の種類は妥当か。(雨量観測、水位観測、道路気象観測、水質観測、土石流等の砂防観測)				
2	置局計画	1) 机上設計の手順は妥当か。(テレメータ化対象観測局及び監視局の地図上へのプロット、回線構成検討、中継局の要否、所要S/Nの確保など) 2) 監視局の置局は妥当か。 3) 中継局の置局は妥当か。(局舎迄の保守用道路の確保、局舎の立地条件、気象条件・災害による悪影響を受けない場所、太陽電池設置局における太陽光の遮蔽のない場所など) 4) 観測局の置局は妥当か。(局舎の立地条件、気象条件・災害による悪影響を受けない場所、太陽電池設置局における太陽光の遮蔽のない場所、維持管理を考慮した場所など) 5) 空中線柱は妥当か。(耐風速60m/S、伝搬調査結果による必要高、積雪を考慮した強度検討など) 6) 雨量計は妥当か。(測定誤差となる障害物及び立地の回避、適切な受水口の高さなど)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
2	置局計画	<p>7) 水位計は妥当か。(正確な水位資料が得られる場所の選定、年間の水位、洪水時の流量・流速並びに水位変動及び量水塔等の工事の難易度、適切な強度及び検査清掃が容易な量水塔、十分な強度を有する支柱、凍結防止ヒータ、センサ保護用パイプ、コンクリート柵、十分な避雷対策など)</p> <p>8) 太陽電池の設置は妥当か。(太陽光を遮断する障害物の有無、架台傾斜角度など)</p> <p>9) 現地踏査事項は妥当か。(敷地面積、土地使用許可、災害に対する安全性、商用電源の引込・容量、保守管理用道路の有無・周辺状況、年平均日照時間、現地日照状況、見取図作成、杭打ち、写真撮影など)</p>				
3	回線設計	<p>1) 机上計算は妥当か。(回線設計のための準備、周波数帯選定の条件、基準等、机上計算など)</p> <p>2) 現地調査及び電波伝搬実験は妥当か。(現地調査、電波伝搬実験、実験結果の検討など)</p>				
4	電波防護制度	<p>1) 「電波強度に対する安全施設」の対策は妥当か。(制度の概要、電波防護の基準値など)</p>				
5	基本機能	<p>1) 伝送回線は妥当か。(無線、有線など)</p> <p>2) テレメータシステムの構成は妥当か。</p> <p>3) システムの基本機能は妥当か。</p>				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
6	システム構成	1) 通信方式は妥当か。 2) 機器構成は妥当か。(監視局、中継局、観測局など) 3) 計測装置は妥当か。(雨量計、フロート式水位計、デジタル式水位計、水圧式水位計、非接触型水位計(超音波式) 道路気象観測装置、水質自動監視装置(K-82型S)など) 4) 電源装置は妥当か。(監視局、中継局・観測局、避雷対策、直流電源装置、太陽電池電源など)				
7	機器据付及び調整	1) 局舎設備は妥当か。(十分なスペース、高い耐震安全性など) 2) 機器の据付及び配置は妥当か。(機器配置、機器の据付固定、機器間配線、配管・配線(給電線)の敷設、空中線の取付など) 3) 避雷対策は妥当か。(避雷設備、接地工事など) 4) 機器調整は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
8	土石流テレメータ	1) システム基本構成は妥当か。(イベント方式・イベント方式を兼ね備えたポーリング方式など) 2) 入力情報設計は妥当か。(雨量情報観測、水位情報観測、土砂移動検知情報観測など) 3) 置局計画は妥当か。(机上設計手順、監視局置局、観測局置局、中継局置局、空中線柱、計測装置、電源装置、現地踏査事項など) 4) 回線設計は妥当か。(机上検討、実験結果検討など) 5) 通信方式は妥当か。 6) 機器構成は妥当か。(監視局、中継局、観測局など) 7) 計測装置は妥当か。(雨量計、水位計、ワイヤセンサ、音響センサ、振動センサ、土砂移動検知センサなど) 8) 電源装置は妥当か。(監視局、中継局・観測局、避雷対策、直流電源装置、太陽電池電源装置など)				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(空中線電力など) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ② 供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 警報施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(放流警報予定局の位置、データ種類、必要桁数、制御監視処理方法、システム全体計画など)				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向確認	1) システムに関連する技術動向の確認をしたか。(関連法規、政令、省令、標準等)				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	放流警報の基本原則	1) 放流警報の基本原則は適切か。 (放流警報を実施すべき場合、放流警報を実施すべき範囲、放流警報の方法)				
2	置局計画	1) 机上設計の手順は妥当か。(地形、人家の条件を考慮し、サイレン等の音達範囲を警報対象地域地図へのプロット、回線構成検討、中継局の要否、所要S/Nの確保など) 2) 制御監視局の置局は妥当か。 3) 中継局の置局は妥当か。(局舎迄の保守用道路の確保、局舎の立地条件、気象条件・災害による悪影響を受けない場所、太陽電池設置局における太陽光の遮蔽のない場所など) 4) 警報局の置局は妥当か。(河川周辺住民へサイレン音による不快感を与えない場所、地形状況、立地条件、気象条件・災害による悪影響を受けない場所、太陽電池設置局における太陽光の遮蔽のない場所、維持管理を考慮した場所など) 5) 空中線柱は妥当か。(耐風速60m/S、伝搬調査結果による必要高、サイレン・スピーカ搭載時は音源を遮蔽しない必要高、積雪を考慮した強度検討など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
2	置局計画	<p>6) サイレン・スピーカ等は妥当か。</p> <p>ア. サイレン・スピーカは妥当か。(設置位置、立地条件、積雪、寒冷地対策、地形条件、塩害対策など)</p> <p>イ. 回転灯は妥当か。(設置場所、視認性など)</p> <p>ウ. 表示盤、河川情報表示装置は妥当か。(設置場所、視認性、回転灯等と併設、屋外建造物強度計算など)</p> <p>エ. 太陽電池の設置は妥当か(太陽光を遮蔽する障害物の有無、架台傾斜角度など)</p> <p>7) 現地踏査事項は妥当か。(敷地面積、土地使用許可、警報対象地域と候補地点の関係、音源遮蔽物の有無、周囲騒音、気象条件による音達影響、災害に対する安全性、商用電源の引込・容量、保守管理用道路の有無・周辺状況、年平均日照時間、現地日照状況、見取図作成、杭打ち、写真撮影など)</p>				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
3	回線設計	1) 机上計算は妥当か。(回線設計のための準備、周波数帯選定の条件、基準等、机上計算など) 2) 現地調査及び電波伝搬実験は妥当か。(現地調査、電波伝搬実験、実験結果の検討など) 3) 設置予定場所での音達実験は妥当か。(使用機材、測定項目、測定方法及び判定基準、実施要領、実施手順、基準S/N比の設定、周囲雑音レベルの設定、出力音圧レベルの調査、標準音達距離の設定、警報局配置案の作成など)				
4	電波防護制度	1) 「電波強度に対する安全施設」の対策は妥当か。(制度の概要、電波防護の基準値など)				
5	基本機能	1) 伝送回線は妥当か。(無線、有線など) 2) 放流警報システムの構成は妥当か。 3) システムの基本機能は妥当か。				
6	システム構成	1) 通信方式は妥当か。 2) 機器構成は妥当か。(制御監視局、中継局、警報局など) 3) 各装置は妥当か。(サイレン装置、拡声装置、回転灯装置、表示盤装置) 4) 電源装置は妥当か。(制御監視局、中継局・警報局、避雷対策、直流電源装置、太陽電池電源など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当 対象	照査	
7	機器据付及び調整	1) 局舎設備は妥当か。(十分なスペース、高い耐震安全性など) 2) 機器の据付及び配置は妥当か。(機器配置、機器の据付固定、機器間配線、配管・配線(給電線)の敷設、空中線の取付など) 3) 避雷対策は妥当か。(避雷設備、接地工事など) 4) 機器調整は妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				



成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 多重無線施設 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。	業務計画書			
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システムシステムを把握できたか。	追加資料 リスト			
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。	現場写真他			

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	<p>1) 基本的必要条件の整理をしたか。（目的、必要区間、伝送内容、容量(通信路数)、回線の種別、回線規格(回線信頼度)、使用開始時期等の確認)</p> <p>2) 基本構成を整理したか。（回線区分、機器構成〔空中線・無線装置・端局装置・遠方監視制御装置〕)</p> <p>3) 電波法及び関係法例、関連基準に適合しているか。</p> <p>4) 多重無線設備設置基準に適合しているか。</p> <p>5) 回線信頼度向上に対する検討をしたか。（装置予備方式、ルート予備方式）</p> <p>6) 災害時にも回線が有効に機能できるよう検討したか。（自然条件（雨、風、雪、雷）への対策）</p> <p>7) 通信方式の検討をしたか。</p> <p>8) 将来にわたって通信が確保できるよう検討したか。（置局、伝搬路、空中線地上高）</p> <p>9) 無人方式の無線局に対する検討をしたか。（状態把握、遠方監視制御が有資格者常駐所から可能であること）</p> <p>10) 周波数帯の選択について整理したか。（伝送容量、伝送区間により選定〔6.5GHz帯、7.5GHz帯、12GHz帯、40GHz帯〕）</p> <p>11) 電波防護に関する規制について考慮したか。</p>	基本条件検討書			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当 対象	照査	
5	技術動向の確認	1) システムに関連する技術動向の把握をしたか。(関連法令、制令、省令、標準等)				
6	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
7	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	通信方式(変調方式、周波数帯等)の選定	1) 変調方式及び周波数帯の選定は妥当か。(使用目的、伝送容量及び区間距離から選択)	設計条件 検討書			回線設計
2	多重無線装置の選定	1) 計画回線の種別、必要通路数及び使用周波数帯等を基に適切な多重無線装置が選択されているか。(4PSK,16QAM,128QAM,2FSK)	設計条件 検討書			回線設計
3	回線品質の設定	1) 回線品質は妥当か。(回線瞬断率、C/N で表される熱雑音と符号誤り率、符号誤り率とC/N)	設計条件 検討書			回線設計
4	干渉計算(D/U 計算)	1) 他の回線と相互の干渉電力から D/U 値を計算し、既定値内にあることを確認しているか。	設計条件 検討書			回線設計
5	通信方式別無線周波数割当て順位	1) 無線周波数の割当て順位は妥当か。(D/U 検討を基に周波数割当て順位表から選定)	設計条件 検討書			回線設計
6	置局選定	1) 反射板又は無線中継所等の置局の選定は妥当か。(立地条件、環境条件、無線伝搬路としての各種技術的条件を満足するよう検討) ①. 一般事項(見通し図、回線上の障害物件等)の整理をしたか。 ②. 反射板設置場所の選定(地形・地質・面積等、工事用運搬路、無線区間上の位置、積雪量、関連法令の規制等)は妥当か。 ③. 中継所の位置選定(技術的条件、周囲の環境条件、気象条件、保守の難易、多目的な利用)は妥当か。 ④. 電波伝搬路調査(光学的方法、電波伝搬実験(実測データ)による検証)はしたか。	設計条件 検討書			回線設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
7	見通し調査に基づくクリアランスの算出	1) 見通し調査によるクリアランスの確認はしたか。(伝搬路上のリッジ高、リッジ点における電波通路高の算出)	設計条件 検討書			回線設計
8	所要空中線高の算出	1) 所要空中線高は妥当か。(リッジ点における実効リッジ高、電波通路高を中心とする第1フレネル半径の確認)	設計条件 検討書			回線設計
9	電波伝搬実験	1) 電波伝搬実験は妥当か。(受信電力の測定、フェージング量の測定)	設計条件 検討書			回線設計
10	多重無線装置のシステム設計	1) 入出力信号のインターフェース条件は検討したか。(6.3Mbps:1.5Mbps、DSC:ASC) 2) 遠方(被)監視・制御装置、専用測定装置とのインターフェース条件は検討したか。(無電圧ループ接点等) 3) ベースバンド信号の最大無線中継数は検討したか。(無線中継区間でのジッター累積を考慮)	設計条件 検討書			システム設計
11	端局装置のシステム設計	1) 基本機能の検討はしたか。 ①. デジタル端局装置(複合型多重端局装置、データ回線終端装置、網同期装置) ②. 小容量デジタル端局装置 ③. デジタル端局装置(SDH)タイプ5 2) 端局の種類は検討したか。(SDH端局装置の有効利用等) 3) システム設計の検討はしたか。(設置局のCH容量を元にインターフェースを決定)	設計条件 検討書			システム設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
12	専用通信網監視制御装置	1) 基本機能の検討はしたか。(監視制御装置本体、メンテナンスツール) 2) システム設計の検討はしたか。(親局・子局の配置、データ通信路の構成及びインターフェース、監視制御項目数等の検討)	設計条件 検討書			システム設計
13	機器据付及び調整	1) 機器の据付及び配線の検討はしたか。(災害時における設備の機能等確保、二次災害の防止及び人命の安全確保に配慮) 2) 機器調整の検討はしたか。 3) 局舎、電源及び鉄塔の検討はしたか。(スペースの確保、耐震安全性)	設計条件 検討書			
14	電波防護制度	1) 電波防護制度の検討はしたか。	設計条件 検討書			

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。	設計計算書			
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。	設計図			
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。	数量計算書			

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工設備計画	1) 施工方法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。	施工設備 計画書			
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 今後の課題、施工上の留意点等が整理されているか。 5) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 光ケーブル経路 詳細設計照査基準(案)

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。	業務計画書			
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。	追加資料リスト			
3	現地踏査	1) 設置環境状況を把握したか。(立地条件、環境条件、維持管理条件等) 2) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期等) 3) 既設設備及びネットワークの状況を把握したか。	現場写真他			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 收容ケーブル調査案件を整理したか。(ネットワーク構成、收容ケーブルの種類・数量、電力供給の有無、收容ケーブルの分岐・接続位置、将来の増設計画など) 2) 收容空間調査案件を整理したか。(敷設ルート、管種、管径、ハンドホール・マンホールの位置・仕様、作業環境など) 3) 架空区間調査案件を整理したか。(電柱の種類・柱長・占用位置・共架状況・建設年度、他所管工作物との離隔、作業環境など) 4) 立地条件を整理したか。(地形状況、土地利用状況、道路種別、交通状況、各種規制の有無、道路拡幅等の計画の有無など) 5) 既設物件調査案件を整理したか。(構造物、施設物、地中埋設物、建築物跡、仮設工跡など) 6) 地盤条件を整理したか。(地層構成、土質・地下水の状況、腐食性土壌・温泉地・軟弱地盤の有無など) 7) 環境条件を整理したか。(気象調査(凍結防止対策の要否)、地盤沈下、騒音・振動規制の有無、橋梁・鉄道・河川等の特殊区間の有無、防災拠点など)	基本条件検討書			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	管路	<p>1) 荷重等の検討は妥当か。(死荷重、活荷重、衝撃荷重、土圧、水圧、浮力、吊り上げ時の荷重(ハンドホール・マンホール)、地震の影響、雪荷重、許容応力度など)</p> <p>2) 工法、施工場所による管路設備の選定は妥当か。(管路、ハンドホール、マンホール、プルボックスなど)</p> <p>3) 管種の選定は妥当か。(鋼製電線管、合成樹脂管、波付硬質ポリエチレン管など)</p> <p>4) 管路の条数、管径、線形及び径間長は妥当か。</p> <p>5) 伸縮継手の設計は妥当か。(設置位置、継手の種類など)</p> <p>6) ハンドホール・マンホールの設計は妥当か。(設置位置、容量・構造、管路取付部、支持金具、管路勾配とハンドホール等の位置、鼠害対策など)</p> <p>7) 埋設部管路の設計は妥当か。(埋設位置、埋設深、保護土及び配管配置間隔、計画断面や他の埋設物との離隔距離など)</p> <p>8) 露出配管の設計は妥当か。(添架方式、配管方式、支持間隔、支持部材の強度計算など)</p> <p>9) 維持管理を考慮した設計となっているか。</p>	設計条件検討書			

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
2	光ケーブル	1) 光ケーブルの選定は妥当か。(心線種別、心線数、心線構造、心形態、シース形態など) 2) ケーブルピース長の算出は妥当か。(接続点、接続必要長、引通し必要長、成端部必要長など) 3) 許容光損失の算出は妥当か。(伝送速度、波長帯、ファイバ種別、回線品質、伝送・接続損失など) 4) クロージャの設計は妥当か。(分岐数、浸水検知センサー設置の有無など) 5) 成端部の設計は妥当か。(成端箱の型式・構造、光ファイバコード型式など) 6) 直接埋設の場合の設計は妥当か。(埋設深、防護物など) 7) 架空の場合の設計は妥当か。(地上高、他設備との離隔距離、風圧荷重、電柱強度計算、張力計算など) 8) 維持管理を考慮した設計となっているか。	設計条件検討書			

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。	設計計算書			
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①光ケーブル経路図 ②光ケーブル敷設平面図 ③埋設断面図 ④装柱図 ⑤配管図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。	設計図			
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。	数量計算書			

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。	施工設備計画書			
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 反射板 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。	業務計画書			
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。	追加資料リスト			
3	現地踏査	1) 設置環境状況を把握したか。(自然条件、社会条件、地盤条件、保守・管理条件等) 2) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期等) 3) 既設設備及びネットワークの状況を把握したか。	現場写真他			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 通信回線構成要件を整理したか。(設置場所、反射板の所要面積など) 2) 予備調査案件を整理したか。(電波伝搬実験、ミラーテスト、相互混信調査、資機材搬入路・仮置き場、岩盤・地下水調査、自然景観・人工景観との調和、近傍反射原因の建築物・工作物、地下埋設物、高層建築物建設計画、崩落・雪崩の危険性、樹木の生長状況、TV 受信障害、対地静止衛星離隔、制約条例など) 3) 建設計画を整理したか。(設置位置、高さ、概略形状など) 4) 条件調査を整理したか。(自然条件(風、地震、積雪)、社会条件(日影、TV 受信障害、対地静止衛星離隔)、地盤条件、保守管理条件など) 5) 設計条件を整理したか。(設計荷重(風荷重、地震力その他)、許容たわみ・ねじれ及び安全率、付属構造物の有無、付属施設の有無、防食法、基礎の種類など)	基本条件検討書			
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	反射板上部	1) 主柱材の設計は妥当か。 2) 腹材(斜材・水平材)の設計は妥当か。 3) 付属構造物の検討は妥当か。 4) 付属設備の検討は妥当か。 5) たわみ、ねじれの計算は妥当か。 6) 材料は設計条件に適合し、妥当か。 7) 基部反力の算出は妥当か。	設計条件検討書			
2	反射板基礎	1) 地盤強度の算出は妥当か。 2) 基礎種別の選定は妥当か。(上部構造の特性、地盤の性状、敷地の状況、施工性、周囲への影響など) 3) 基礎形状の仮定は妥当か。 4) 安定計算は妥当か。(常時・異常時・レベル1地震時における支持、転倒、滑動、水平変位など) 5) 部材設計は妥当か。(杭体、柱、フーチング)	設計条件検討書			

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。	設計計算書			
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①反射板一般図 ②反射板詳細図 ③アンカー材詳細図 ④基礎一般図 ⑤配筋図 ⑥接地設備詳細図 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。	設計図			
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。	数量計算書			

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。	施工設備計画書			
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 今後の課題、施工上の留意点等が整理されているか。 5) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 鉄塔 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。	業務計画書			
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。	追加資料リスト			
3	現地踏査	1) 設置環境状況を把握したか。(自然条件、社会条件、地盤条件、保守・管理条件等) 2) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期等) 3) 既設設備及びネットワークの状況を把握したか。	現場写真他			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	<p>1) 通信回線構成要件を整理したか。(設置場所、空中線の種類と個数、空中線毎の高さ、給電線の種類と条数など)</p> <p>2) 予備調査案件を整理したか。(電波伝搬実験、ミラーテスト、相互混信調査、資機材搬入路・仮置き場、岩盤・地下水調査、自然景観・人工景観との調和、近傍反射原因の建築物・工作物、地下埋設物、高層建築物建設計画、崩落・雪崩の危険性、樹木の生長状況、TV 受信障害、対地静止衛星離隔、制約条例など)</p> <p>3) 建設計画を整理したか。(設置位置、高さ、概略形状など)</p> <p>4) 条件調査を整理したか。(自然条件、社会条件、地盤条件、保守管理条件など)</p> <p>5) 設計条件を整理したか。(鉄塔の形式、設計荷重(風荷重、地震力その他)、許容たわみ・ねじれ及び安全率、付属構造物の有無、付属施設の有無、防食法、基礎の種類など)</p>	基本条件検討書			
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	鉄塔	1) 主柱材の設計は妥当か。 2) 腹材(斜材・水平材)の設計は妥当か。 3) 付属構造物の検討は妥当か。 4) 付属設備の検討は妥当か。 5) たわみ、ねじれの計算は妥当か。 6) 材料は設計条件に適合し、妥当か。 7) 基部反力の算出は妥当か。	設計条件検討書			
2	基礎	1) 地盤強度の算出は妥当か。 2) 基礎種別の選定は妥当か。(上部構造の特性、地盤の性状、敷地の状況、施工性、周囲への影響など) 3) 基礎形状の仮定は妥当か。 4) 安定計算は妥当か。(常時・異常時・レベル1地震時における支持、転倒、滑動、水平変位など) 5) 部材設計は妥当か。(杭体、柱、フーチング)	設計条件検討書			

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。	設計計算書			
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①鉄塔一般図 ②鉄塔詳細図 ③アンカー材詳細図 ④電気・避雷設備詳細図 ⑤基礎一般図 ⑥配筋図 ⑦接地設備詳細図 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。	設計図			
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。	数量計算書			

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。	施工設備計画書			
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	計画通知書	1) 計画通知書(案)を作成しているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
8	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
9	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
10	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
11	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# ラジオ再放送設備 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(メタル・光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件是整理したか。(運用開始時期、設計・積算・工事・申請等のスケジュール、緊急情報の提供の有無など) 2) 基本構成は整理したか。(受信アンテナ、ラジオ再放送装置、トンネル内送信アンテナ、割込制御装置、割込端末装置、トンネルマイクなど) 3) 関連法規に適合しているか。(電波法、有線電気通信法、電気通信事業法、有線ラジオ放送業務の運用の規制に関する法律など) 4) 放送局同意書は得ているか。 5) 設置基準に適合しているか。(道路トンネル非常用施設設置基準によるトンネル等級など) 6) 最適な方式を選定しているか。(目的、使用条件、トンネル形状を考慮した方式の選定など) 7) 道路管理担当部署との打合せは行われているか。 8) 電波防護制度に適合しているか。				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	放送局の選定	1) AM ラジオの再放送する放送局は妥当か。 (電界強度、受信状態の測定など) 2) FM ラジオの再放送する放送局は妥当か。 (電界強度、受信状態の測定など)				
2	受信アンテナの位置	1) 受信アンテナの位置は妥当か。(トンネル坑口電気室付近、反対側坑口付近、トンネル近傍の他の施設設置予定地など)				
3	AM ラジオ再放送設備	1) 受信アンテナの型式は妥当か。 2) 再送信方式は妥当か。 3) トンネル内電界強度は妥当か。 4) 漏洩電界強度は妥当か。 5) AM ラジオ送信アンテナは妥当か。 6) 回線設計法は妥当か。				
4	FM ラジオ再放送設備	1) 受信アンテナの型式は妥当か。 2) 再送信方式は妥当か。 3) トンネル内電界強度は妥当か。 4) 漏洩電界強度は妥当か。 5) FM ラジオ送信アンテナは妥当か。 6) 回線設計法は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
5	給電線	1) 給電線の選定は妥当か。(低損失、シールド効果) 2) トンネル内露出箇所の同軸ケーブルの選定は妥当か。(耐熱型)				
6	ケーブル敷設	1) 敷設方法は妥当か。(支持間隔、巾架間隔など) 2) 引留固定の方法は妥当か。 3) 支持間隔は妥当か。 4) 埋設方法は妥当か。				
7	緊急放送系統	1) 緊急放送系統は妥当か。(A線用の放送系統、B線用の放送系統、一斉放送)				
8	監視制御方式	1) 監視制御方式は妥当か。(割込機能あり、割込機能なし)				
9	機器配置及び配線	1) 耐火耐熱対策は妥当か。 2) 電源の停電対策は妥当か。 3) 接地は妥当か。(筐体、高周波回路など)				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①システム系統図 ②ケーブル系統図 ③空中線系統図 ④誘導線取付図 ⑤機器配置図 ⑥機器据付図 ⑦配管配線図 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# CCTV 設備 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点、追加事項、不整合箇所等があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況(電力引き込み位置の確認を含む)、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管・ルート・既設クロージャ及びバンドホール、水道管・ガス管、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔、橋梁及びその添架構造物等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件(架空横断物、埋設物等)の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 監視する対象設備を把握したか。 9) 電源の供給場所を把握したか。 10)カメラからの見え方、見える範囲、監視目的物の見え方、照明灯の位置を確認したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システム化対象業務範囲、システム利用者・運用者、設置場所・環境条件、システム基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 画像入力系の条件を整理したか。(画像情報収集対象の場所・範囲・対象物、環境条件、監視場所からの距離など) 3) 画像制御系の条件を整理したか。(映像切替必要チャンネル数[監視用・録画蓄積用・上位局及び他機関配信用・将来増設用等]、被制御カメラ台数、制御方法、操作方法など) 4) ネットワーク系の条件を整理したか。(画像収集系、制御系、配信・提供系で要求される機能条件、適用範囲、利用条件など) 5) 画像監視系の条件を整理したか。(利用者数、運用目的・形態、利用場所、環境条件など) 6) 設置条件を整理したか。(装置の設置場所・設置方法、装置間の距離、電源供給方式、予備電源又は停電対策の確保、雷害対策など)				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。 2) 画像圧縮技術、画像蓄積・配信技術、画像処理技術及びネットワーク関連技術の動向について確認したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	CCTV カメラシステム	1) カメラ端末の種類は妥当か。(単板式/3板式、蓄積型/非蓄積型、旋回式/固定式、レンズなど) 2) 周辺機器は妥当か。(照明装置、拡声装置、集音マイク、耐雷トランスなど) 3) 伝送方式は妥当か。(動画、静止画) 4) 伝送装置は妥当か。(有線系:光ケーブル、同軸ケーブル等、無線系:多重無線、無線 LAN 等)				
2	制御システム	1) 収集映像の種類、本数は妥当か。 2) ソースとなるカメラ端末の種類は妥当か。 3) 必要な映像出力数は妥当か。 4) 周辺機器の制御は妥当か。(映像切替器、文字発生部、VTR、大型表示装置、画像サーバなど) 5) 制御方式は妥当か。 6) 制御伝送方式は妥当か。 7) 上位局、他機関等からの制御に係るシステムは妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
3	画像処理応用システム	1) 必要な画像処理の仕様は妥当か。 2) カメラに要求される機能・性能は妥当か。 3) 画像処理結果のシステムへの取り込みは妥当か。 4) 処理結果の伝送先は妥当か。 5) 処理データファイルシステムとファイル容量は妥当か。 6) 処理データへのアクセスのためのデータベースは妥当か。				
4	画像蓄積・管理システム	1) 画像蓄積に必要な機能・仕様は妥当か。 2) 蓄積画像の配信先は妥当か。 3) 画像蓄積サーバの構成は妥当か。(VODサーバ/ファイルサーバ) 4) 画像蓄積サーバへのアクセス方法は妥当か。 5) 画像蓄積サーバの管理方法は妥当か。(2次蓄積手段など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
5	画像配信システム	1) 画像配信先は妥当か。 2) 配信先からのアクセス方法は妥当か。 3) セキュリティ対策は妥当か。 4) 配信サーバの管理方法は妥当か。(配信画像選択、画像内容確認など)				
6	画像表示・操作システム	1) 表示機器の選定は妥当か。(種類、数量など) 2) 表示機器の設置場所・方法は妥当か。 3) 操作方式の選定は妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(ポール強度、レンズ倍率、サーバ容量など) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。 4) 施工機械の種類、規格は妥当か。 5) 工事用道路、作業範囲の確保は適切か。 6) 運搬路計画は妥当か。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
5	技術支援資料	<p>1) コストに関する事項は、整理されているか。            ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討</p> <p>2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。            ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討            ②供用性等の性能、機能についての検討</p> <p>3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。            ①騒音・振動・景観等の環境についての検討            ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討            ③特別な安全対策についての検討            ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討</p>				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 道路情報システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 設置スペース、耐震方法を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(電源・通信ケーブル配管及びルート、分電盤等) 3) 環境状況を把握したか。 4) 支障物件の状況を把握したか。 5) 施工計画の条件を把握したか。(搬入出経路) 6) 既設設備の状況を把握したか。 7) 電源の供給場所を把握したか。				
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システムの整備目的、対象業務、利用者、運用者、整備地域・設置場所・環境条件、実現方式、導入効果評価等) 2) 取扱情報は整理したか。(直轄道路情報、自治体道路情報、気象庁の気象情報、道路交通情報センター、道路交通量情報) 3) 集配信処理のタイミングは整理したか。(10分、30分、60分などの取扱データ) 4) 各局システムの機能と情報の流れは、整理したか。(総括局、中枢局、集中局)	設計条件検討書			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向の確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準、関連技術の動向を確認したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

## 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	入力機能の設計	1)取り扱いデータは妥当か。(項目、形態、単位等)	設計条件検討書			システム機能設計
2	演算機能の設計	1)演算項目、演算処理式及び警戒値判定方法は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
3	データ管理機能の設計(データベース設計)	1)ファイルの配置(中枢局、集中局、監視局)は妥当か。 2)データファイル方式(汎用 DBMS 方式、専用ファイル方式)は妥当か。 3)データ保存期間(ハードディスク保存容量)は妥当か。 4)データ保存形式(外部保存媒体の種類と保存容量)は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
4	情報提供画面及びヒューマンインターフェース設計	1)端末の種類、利用形態は妥当か。 2)GUI(C/S、Web)・GIS の利用は妥当か。 3)メニュー、操作方式は妥当か。 4)画面の種類は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
5	周辺機器出力機能の設計	1)周辺機器(プリンタ、表示盤、電話応答通報装置等)は妥当か。 2)周辺機器機能(表示、印字、通報等)は妥当か。 3)周辺機器のインターフェースは妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
6	配信機能の設計	1)配信経路は妥当か。 2)配信タイミングは妥当か。 3)データ項目は妥当か。 4)通信インターフェースは妥当か。 5)収集・提供システムとの接続は妥当か。 6)データ交換は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	信頼性に考慮した設計	1)連続運用の保証は妥当か。 2)重要機能の冗長化は妥当か。 3)障害波及の防止は妥当か。 4)障害情報の通知、記録、出力は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
8	関係機関のシステムとの情報交換	1)隣接事務所、他地方整備局、公団及び自治体の各システムとの情報交換は妥当か。 2)気象庁のシステムとの情報交換は妥当か。 3)公安委員会及び道路交通情報センターの各システムとの情報交換は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
9	ソフトウェア構成設計	1)OS は妥当か。 2)開発ツール・言語 3)基本ソフトウェア(データベース、ミドルウェア、GUI、地図データベース、GIS)は妥当か。	設計条件検討書			システム機能設計
10	階層構成と機能分担設計	1)階層構成(総括局、中枢局、集中局、監視局)は妥当か。 2)各階層におけるシステム構成(収集系、処理系(データベースサーバ)、情報提供系)は妥当か。	設計条件検討書			システム構成設計
11	サーバ系機器の構成設計	1)通信サーバと提供サーバは妥当か。 2)信頼性に対する配慮(障害時、データ保護対策機能、二重化)は妥当か。 3)構成パターンは妥当か。	設計条件検討書			システム構成設計
12	端末機器の構成設計	1)端末機器の構成は妥当か。(一般表示用端末装置、専用監視端末装置)	設計条件検討書			システム構成設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
13	集配信ネットワークの設計	1)通信サーバ、インターフェース変換装置は妥当か。 2)情報集配信系ネットワークは妥当か。 3)情報提供系ネットワークは妥当か。 4)セキュリティ対策は妥当か。	設計条件検討書			システム構成設計
14	収集系サブシステム	1)道路テレメータ設備は妥当か。(インターフェース仕様、データ項目、伝送タイミング、収集所要時間) 2)交通量常時観測システムは妥当か。(観測方式の種類、観測内容、通信インターフェース仕様、既設システムとの連動) 3)道路トンネル非常用設備は妥当か。(装置の種類、補助板、転換所表示板の有無、表示方式、取り扱いデータの内容、制御器～通信サーバ間のデータ転送方式、試験中／保守中データの扱い、回線障害発生時／復旧時の処理方法) 4)施設監視システムは妥当か。(施設監視の種類、取り扱いデータの内容、各装置～通信サーバ間のデータ転送方式、データ収集間隔、回線障害発生時／復旧時の処理方法)	設計条件検討書			システム構成設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
15	提供系サブシステム	1) 道路情報板表示システムは妥当か。(システムの構成、道路情報板主制御器との接続方式、機能ランク) 2) 路側通信システムは妥当か。(提供区間、標識板の設置場所と表示方式、放送ソースの種類、取り扱いデータの内容) 3) ラジオ再放送システムは妥当か。(対象トンネルと構成、割込放送の有無、放送ソースの種類、取り扱いデータの内容) 4) 道の駅システムは妥当か。(インターフェース仕様、データ項目、伝送タイミング) 5) VICS との情報交換仕様は妥当か。(接続場所、インターフェース仕様、ネットワーク構成、データ項目、伝送タイミング)	設計条件検討書			システム構成設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
16	駐車場案内システム	1) 情報の種類は妥当か。(目的地選択時の事前情報、目的地に移動中の情報、目的地での活動を支援する情報) 2) システム機能は妥当か。(情報収集系、情報処理系、情報提供系、情報伝送系) 3) 情報収集系機能は妥当か。(取り扱いデータ、駐車場入出車情報) 4) 情報処理系機能は妥当か。(通信処理、駐車状況の判定、情報提供系への表示情報の作成、情報の蓄積) 5) 情報提供系機能は妥当か。(案内板の種類と機能、案内板への表示内容) 6) 情報伝送系機能は妥当か。(駐車場～中央処理装置間の情報伝送、中央処理装置～情報提供装置間の情報伝送、伝送方式) 7) 他のシステムとの情報交換は妥当か。(道路情報システム、他機関のシステム)	設計条件検討書			
17	地下駐車場監視・制御設備	1) 地下駐車場監視・制御に必要な機能・仕様は妥当か。(中央監視設備、駐車場管制設備)	設計条件検討書			

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(サーバ容量など) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 河川情報システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 設置スペース、耐震方法を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(電源・通信ケーブル配管及びルート、分電盤等) 3) 環境状況を把握したか。 4) 支障物件の状況を把握したか。 5) 施工計画の条件を把握したか。(搬入出経路) 6) 既設設備の状況を把握したか。 7) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システムの整備目的、システム利用者・運用者、整備地域、設置場所・環境条件、運用スケジュール、導入効果評価など) 2) 技術動向を整理したか。(国内外の標準や規格、業界標準など。) 3) 取扱範囲は整理したか。(直轄、都道府県、その他の、雨量、水位、水質などの取扱データ) 4) 集配信・処理のタイミングは整理したか。(10分、30分、60分などの取扱データ) 5) 配信・提供範囲は整理したか。(中枢局、他事務所、(財)河川情報センタ、都道府県など)				
5	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
6	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
7	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
8	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	入力機能の設計	1) 収集ルートとインターフェースは妥当か。(テレメータ入力、ダム諸量入力、都道府県入力など) 2) 取扱データは妥当か。(収集すべきデータ項目、収集間隔、演算間隔など)				
2	演算機能の設計	1) 演算処理式、異常値判定方法、警報判定は、観測項目ごとに妥当か。				
3	データベース管理機能の設計(データベース設計)	1) 保存期間、保存項目は妥当か。 2) データ管理方法、データベース構造は妥当か。				
4	情報提供画面情報アクセス機能の設計	1) 情報画面は妥当か。(一時点現況表、経過表、グラフ、地図、模式図など) 2) 帳票は妥当か。 3) アクセス方式は妥当か。				
5	周辺機器出力機能の設計	1) 周辺機器のインターフェースは妥当か。				
6	配信機能の設計	1) 全体データ処理の遅れがない妥当な方式か。				
7	タイムチャート	1) データ集配信時間は妥当か。				
8	信頼性等に配慮した設計	1) 連続運用の保証は妥当か。 2) 重要機能の冗長化は妥当か。 3) 障害波及の防止は妥当か。 4) 障害情報の通知、記録、出力は妥当か。				
9	関連システムとの整合など	1) データ等の整合は妥当か。(水文、水質データベース、洪水予報、水防警報、気象情報(L-ADDES))				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
10	階層構成と機能分担設計	1) 階層構成は妥当か。 2) 機能分担は妥当か				
11	サーバ系機器の設計	1) 通信サーバと提供サーバは妥当か。 2) 信頼性は妥当か。3) 構成パターンは妥当か。				
12	インターフェース変換装置の設計	1) 必要な場合、そのインターフェース変換装置は妥当か。				
13	端末機器の設計	1) 端末機器の設計は妥当か。				
14	ネットワークの設計	1) ネットワークの設計は妥当か。 2) セキュリティ対策は妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(サーバ容量など) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 地震情報システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 他の地震計が隣接しているか 4) 気象条件を把握したか。 5) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 6) 支障物件の状況を把握したか。 7) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 8) 既設設備の状況を把握したか。 9) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システムの整備目的、対象業務、利用者、運用者、整備地域、設置場所等) 2) システムの機能要件の確認をしたか。(センサ機能、入力機能、演算、判定機能、データ管理機能、ヒューマンマシンインターフェース、周辺機器出力機能、配信機能、信頼性、関連機器との情報取得、ソフトウェア構成) 3) システムの構成要件の確認をしたか。(全体3構成と機能分担、サーバ系/端末系機器の構成、収集系システム、サブシステム等) 4) ネットワークの構成要件の確認をしたか。(プロトコル、ネットワーク構成、IPアドレス、セキュリティ)				
5	技術動向確認	1)国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1)電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表

## (照査②:地震計ネットワークシステム)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	センサ機能	次の事項が明確にされているか 1) データの整合性を確保するための機能 2) 上位局へ伝送するためのインターフェース仕様 3) 上位装置間の入出力コマンド 4) 上位装置への震度データ項目 5) 上位装置間の通信回線				
2	入力機能	次の事項が明確にされているか 1) データ項目 2) 地震データ入力機能 3) 波形データの入力				
3	演算・判定機能	次の事項が明確にされているか 1) 地震発生の判定方法 2) 地震の発生から終了までの判定方法 3) 計測震度と震度階				
4	データ管理機能	次の事項が明確にされているか 1) データファイルの配置 2) データファイルの方式 3) データ保存期間 4) データ保存形式				
5	情報提供画面及びヒューマンインターフェース	次の事項が明確にされているか 1) 端末の種類と利用形態 2) 画面の種類 3) メンテナンス操作 4) メニュー操作方式				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
6	周辺機器出力機能	次の条件に従って設計されているか 1) 対象とする周辺機器に、プリンタ、警報装置、電話通報装置等があるか。 2) 周辺機器自体の設計機能に、表示、吹鳴、印字、通報等があるか。 3) 周辺機器とのインターフェースは、TCP/IPを基本としているか。				
7	配信機能	次の条件に従って設計されているか 1) データの配信経路は、観測局、監視局、中枢局、総括局の順になっているか。また、国土総合技術政策研究所にも配信されるか。 2) データの配信タイミングは、1分周期を基本としているか。 3) 監視局～中枢局間の通信インターフェースは、HDLC 又は TCP/IP を基本としているか。 4) 中枢局～総括局間の通信インターフェースは、TCP/IP を基本としているか。				
8	信頼性等の配慮	連続運用を基本とするため可能な限り障害発生要因を排除するほか、一部の異常が系全体へ波及しないよう、次の事項に十分配慮されているか 1) 連続運用の保証 2) 重要機能の冗長化 3) 障害波及の防止 4) 障害情報の通知、記録、出力				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
9	関係機関からの情報取得	1) 必要に応じ、気象庁などの関係機関のシステムから情報取得することが出来るか。				
10	ソフトウェア構成	次の事項が明確にされているか 1) OS 2) 開発ツール・言語 3) ソフトウェア				
11	システム階層構成	1)階層構成の設計は、総括局、中枢局、監視局及び観測局になっているか。				
12	サーバ系機器の構成	1) 集配信サーバと提供サーバは、分離されているか。 2) 通信サーバと提供サーバ(中枢局及び総括局)は、信頼性を考えて2重化されているか。				
13	端末系機器の構成	1) 専用の端末装置でサーバからデータを直接受け、表示できるものをサーバと同一のセグメント上に最低1台設置し、データ提供の信頼性を確保しているか。 2) 既設パソコン等にデータ提供する場合、提供サーバが設置されているか。				
14	集配信ネットワーク	1) 集配信系ネットワーク(WAN)は、専用網として構成されているか。 2) 集配信系ネットワークと提供系ネットワーク及び他のネットワークを共用する場合は、十分なトラフィック量を確保できるか。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
15	収集系システム	通信回線設計は、次の事項が明確にされているか。 1) 地震テレメータ無線回線(タイプA) 2) 多重無線回線(タイプB) 3) 有線回線(タイプC)				
16	サブシステム	情報収集・提供を行う次のサブシステムについて明確になっているか。 1) 津波・地震衛星受信システム 2) 通報システム				

# 細部条件の照査項目一覧表

## (照査②:ダム地震情報システム)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	ダム局中継機能	次の事項が明確にされているか 1) 観測データの取り込み 2) 地震判定 3) 送信管理 4) データ管理 5) 診断 6) 通信回線				
2	入力機能	次の事項が明確にされているか 1) 入力データ項目 2) 数値データと波形データの取扱 3) 未送データの収集機能 4) 入力タイムチャート				
3	演算・判定機能	次の事項が明確にされているか 1) 地震発生の判定方法 2) 未送データの管理				
4	データ管理機能	※地震計ネットワークシステムに準ずる				
5	情報提供画面及びヒューマンインターフェース	※地震計ネットワークシステムに準ずる				
6	信頼性の配慮	※地震計ネットワークシステムに準ずる				
7	ソフトウェア構成	※地震計ネットワークシステムに準ずる				
8	配信機能	次の事項が明確にされているか。 1) 配信経路 2) 配信タイミング 3) データ項目 4) 通信インターフェース				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当 対象	照査	
9	システム階層構成	1) 階層構成は、国土技術政策総合研究所、中枢局及びダム局になっているか。				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 土砂災害情報システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。	業務計画書			
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。	追加資料 リスト			
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。	現場写真他			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 取り扱い情報を整理したか。(降雨観測情報、土石流発生検知情報、雨量情報、短時間降雨予測情報) 2) 観測情報の入力タイミングを整理したか。(国電通仕第21号[ポーリング方式]／46号[イベント方式]) 3) 処理方法を整理したか。(検知処理／判定処理[指針案／矢野方式／がけ崩れ案]) 4) 情報の提供方法を整理したか。(情報表示端末／電話応答通報装置) 5) 動作条件(夜間、悪天候、降雪等)を整理したか。	基本条件 検討書			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
5	技術動向の確認	1) システムに関連する技術動向の把握をしたか。(関連法令、制令、省令、標準等)				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	入力機能	1) 入力機能は妥当か。(収集サブシステム/河川情報システム等関連システム、入力情報やシステムについての把握) 2) 収集方式は妥当か。(国電通仕第 46 号[イベント方式/イベント/ポーリング方式]が基本) 3) インターフェースは妥当か。(シリアル方式/ LAN 方式)	設計条件 検討書			システム機能設計
2	演算機能	1) 演算間隔は妥当か。 2) 雨量判定方式は妥当か。(指針案[A 方式]/指針案[B 方式]/矢野方式/がけ崩れ案) 3) 演算式は妥当か。(一般演算/指針案[A 方式]/指針案[B 方式]/矢野方式/がけ崩れ案)	設計条件 検討書			システム機能設計
3	データ管理機能(情報保存機能)	1) 保存項目は妥当か。(演算処理を行う全項目) 2) 保存期間は妥当か。(13ヶ月以上) 3) 保存方法は妥当か。(ハードディスク/情報保存メディア[MO/DVD-RAM/その他]へのコピーなど)	設計条件 検討書			システム機能設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
4	情報提供画面情報及びヒューマンマシンインターフェース	1) 表示画面種類は妥当か。(情報表示画面[メニュー画面、状況図画面、一覧表画面、グラフ画面]、システム管理画面[システム状況表示、設定修正画面] 2) 帳票種類は妥当か。(日報、月報、年報等) 3) 情報表示端末/情報保存装置間のインターフェースは妥当か(クライアント/サーバ(C/S)方式/Web方式)	設計条件 検討書			システム機能設計
5	周辺機器出力機能	1) 周辺機器への出力方式は妥当か。(表示盤/プリンタ/大型表示装置/電話応答通報装置等)	設計条件 検討書			システム機能設計
6	配信機能	1) 関係機関への配信方法は妥当か。(市町村役場及び警察署・消防署、情報表示端末/電話応答通報装置) 2) 一般住民への配信方法は妥当か。	設計条件 検討書			システム機能設計
7	信頼性等への配慮	1) 連続運用の保証について検討したか。(エラー時の処理、保存情報のバックアップ機能等) 2) 重要機能の冗長化について検討したか。 3) 障害波及の防止について検討したか。 4) 障害情報の取り扱い(通知、記録、出力)について検討したか。	設計条件 検討書			システム機能設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
8	関係システムとの情報交換	1) 対象システムについて検討したか。(河川情報システム/道路情報システム/気象庁関連システム(MICOS)/地方自治体システム) 2) 情報交換方法について検討したか。(Tcp/IpプロトコルによるLAN接続、ルータ装置等の選択及びアクセス権の設定等)	設計条件 検討書			システム機能設計
9	観測局システム	1) センサの種類は妥当か(降雨観測センサ[転倒マス型雨量計]/土砂移動検知センサ[ワイヤセンサ/音響センサ/振動センサ/光センサ等]) 2) 情報伝送路は妥当か。(無線回線/有線回線[専用回線]/その他の回線[電話回線/衛星回線]) 3) 電源設備は妥当か。(商用電源(AC100V)/太陽電池電源)	設計条件 検討書			システム機能設計
10	画像監視システム	1) 伝送方式及び監視方法は妥当か。(動画/準動画/録画)	設計条件 検討書			システム機能設計
11	階層構成	1) 階層構成について明確となっているか。(監視局システム/画像監視システム/観測局システム/雨量情報盤システム)	設計条件 検討書			システム構成設計
12	監視局システム構成	1) システム構成として妥当か。(監視装置、情報処理装置、情報表示端末)	設計条件 検討書			システム構成設計
13	画像監視システム構成	1) システム構成として妥当か。(カメラ設備、表示設備)	設計条件 検討書			システム構成設計
14	観測局システム構成	1) システム構成として妥当か。(センサ、観測装置、電源装置)	設計条件 検討書			システム構成設計

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査②	備考
15	雨量情報盤システム構成	1) システム構成として妥当か。(雨量情報配信処理装置、雨量情報盤)	設計条件 検討書		システム構成設計
16	全体システム構成	1) 全体システム構成として妥当か。	設計条件 検討書		システム構成設計

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。	設計計算書			
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。	設計図			
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。	数量計算書			

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工設備計画	1) 施工方法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。	施工設備 計画書			
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 今後の課題、施工上の留意点等が整理されているか。 5) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。	設計報告書			
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。	リサイクル 計画書			
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。	登録受領書			

# ヘリコプタ画像伝送システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 既設設備の状況を把握したか。(システム構成、規模等) 2) 環境状況を把握したか。(システム運用条件等) 3) 施工計画の条件を把握したか。(既設システムに影響を与える可能性等) 4) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システム化対象業務範囲、システム利用者・運用者、設置場所・環境条件、システム基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) システム条件を整理したか。(場所・範囲・対象物、環境条件、監視場所からの距離など) 3) 既存のネットワーク系の条件を整理したか。(情報収集系、制御系、配信・提供系で要求される機能条件、適用範囲、利用条件など) 4) 設置条件を整理したか。(装置の設置場所・設置方法、装置間の距離、電源供給方式、無停電電源の確保など)				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。 2) 画像圧縮技術、画像蓄積・配信技術、画像処理技術及びネットワーク関連技術の動向について確認したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1) 電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	基本構成	1) ヘリコプタ画像固定受信装置(固定受信装置)は妥当か。 2) ヘリコプタ画像可搬受信装置(可搬受信装置)は妥当か。 3) ヘリコプタ画像機上送信装置(機上送信装置)は妥当か。				基本構成
2	システム基本事項	1) 災害時等に有効に機能するための対策は妥当か。 2) 固定受信装置の設置箇所は妥当か。 3) 固定受信装置へのアプローチ回線は妥当か。				システム機能設計
3	ヘリコプタ位置情報伝送機能	1) 情報伝送用無線装置は妥当か。 2) データ伝送用無線装置は妥当か。 3) 位置情報は妥当か。				システム機能設計
4	ヘリコプタ位置情報処理機能	1) モニタ機能は妥当か。 2) 自動追尾機能は妥当か。				システム機能設計
5	ヘリコプタ位置情報表示機能	1) ヘリコプタマッピング機能は妥当か。 2) 操作方法は妥当か。				システム機能設計

成果品の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
6	固定受信装置	1) 映像受信空中線及び映像受信装置は妥当か。 2) 空中線駆動装置は妥当か。 3) 制御処理装置は妥当か。 4) 連絡用無線装置及び空中線は妥当か。 5) データ伝送用無線装置及び空中線は妥当か。 6) 監視制御モニタ装置は妥当か。 7) 画像符号化装置は妥当か。				システム構成設計
7	可搬受信装置	1) 空中線、映像受信部、空中線駆動部は妥当か。 2) 操作制御装置、映像分配器、モニタテレビ、VTRは妥当か。 3) 連絡用無線装置、空中線は妥当か。				システム構成設計
8	機上送信装置	1) 映像送信装置及び空中線は妥当か。 2) 連絡用無線装置は妥当か。 3) データ伝送用無線装置及び空中線は妥当か。 4) 空中線共用器は妥当か。 5) GPS装置は妥当か。 6) GPS制御装置は妥当か。				システム構成設計

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# ネットワークシステム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 設置環境状況を把握したか。(気象条件、スペース等) 2) 施工計画の条件を把握したか。(移行時期等) 3) 既設設備及びネットワークの状況を把握したか。 4) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システム化対象業務範囲、システム利用者・運用者、設置場所・環境条件、システム基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 通信データ量を整理したか。(通信データ量、通信・ルーティングプロトコルによるオーバーヘッド、回線効率、迂回時データ量など) 3) 潜在ニーズを整理したか。(端末数の増大等将来の拡張性など) 4) 設置条件を整理したか。(装置の設置場所・設置方法、装置間の距離、電源供給方式、無停電電源の確保など)				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。 2) プロトコル制定化及びネットワーク関連機器の動向について確認したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1)電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	ネットワーク	1) ネットワークの種類は妥当か。(自営回線/公衆回線、マイクロ/光など) 2) 通信媒体は妥当か。(光ファイバ/同軸ケーブル/ツイストペアなど) 3) ネットワークの方式は妥当か。(専用回線方式/交換回線方式など) 4) ネットワークの位置づけは明確か。(ハイアラーキ) 5) ネットワークトポロジーは妥当か。(スター/バス/ループ/メッシュなど) 6) アクセス方式は妥当か。(CSMA/CD など) 7) 通信プロトコルは妥当か。(TCP/IP など) 8) 通信距離、最大ノード数は妥当か。 9) 機器選定は妥当か。(機能、プロトコル、インターフェース、電源電圧、発熱量、設置環境、大きさ、重量等)				
2	LAN/WAN	1) LAN/WAN の構成は妥当か。(共用/分離など) 2) LAN の構成と配線方式は妥当か。 3) WAN の構成と迂回路の確保は妥当か。 4) ルータ装置の冗長化は妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
3	IP アドレス	1) IP アドレスの付与方法は妥当か。 2) IP アドレスの種類は妥当か。(グローバル、プライベート、ローカル) 3) IP アドレスのクラスは妥当か。(クラスA、クラスB、クラスC) 4) サブネットマスクは妥当か。 5) ホスト名称、ネットワーク名称、ドメイン名は妥当か。				
4	ルーティング機能	1) ルーティング方式は妥当か。(スタティック/ダイナミック) 2) OSPFのエリア番号は妥当か。 3) 経路選択のためのメトリック値は妥当か。 4) ルーティングプロトコルは妥当か。				
5	セキュリティ	1) インターネット接続のセキュリティは妥当か。 2) 外部機関(地方自治体、公団等)との接続に係るセキュリティは妥当か。 3) モバイル接続のセキュリティは妥当か。 4) 他事務所・整備局との接続に係るセキュリティは妥当か。 5) 業務系と防災系のネットワーク間のセキュリティは妥当か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
6	ネットワーク管理	1) ネットワーク管理の必要性は明確か。 2) 管理項目は妥当か。(構成管理、性能管理、障害管理など) 3) ネットワーク管理プロトコルは妥当か。 4) ネットワーク管理対象機器は妥当か。 5) 管理の形態、運用方式は妥当か。(一元管理/分散管理/階層管理、24時間監視/アウトソーシング/リモートメンテなど)				
7	トータルネットワーク	1) 移行計画は妥当か。(移行方法、手順、制限事項など) 2) 信頼性向上策は妥当か。(回線2重化、迂回路確保、ルータ等冗長化、無停電化、予備機確保、ネットワーク管理など) 3) ネットワークの拡張性は考慮されているか。 4) 工事実施時のシステムへの影響は検討されているか。(システム停止の有無、停止時間、停止した場合の影響など) 5) 運用・保守・維持管理は考慮されているか。(必要性、実施体制など)				

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(通信データ量など) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①システム系統図 ②ネットワーク構成図 ③機器配置図 ④機器据付図 ⑤機器構成図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 河川管理施設管理システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表

## (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況、土地所有者を把握したか。 2) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管及びルート、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等) 3) 気象条件を把握したか。 4) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 5) 支障物件の状況を把握したか。 6) 施工計画の条件を把握したか。(水没の可能性、進入路等) 7) 既設設備の状況を把握したか。 8) 電源の供給場所を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システムの整備目的、対象業務、利用者、運用者、整備地域、設置場所、環境条件等) 2) 管理対象施設を整理したか。(排水機場、水門設備並びに水文・水質観測施設など) 3) 取り扱い情報を整理したか。(各種施設の遠隔操作及び遠隔監視情報、河川情報データ、CCTVカメラによる画像監視情報など) 4) 監視制御及び集配信処理のタイミングを整理したか。(河川管理施設の運用状況監視、河川情報データ収集、河川管理施設遠隔制御など) 5) 管理システムの情報の流れを整理したか。				
5	技術動向確認	1) システムに関連する技術動向の確認をしたか。(関連法規、政令、省令、標準等)				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1)電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	監視制御機能(排水機場)	1) 管理対象施設は妥当か。(水位計、ゲート、ポンプ、スクリーン・除塵機、自家発電機及びこれらを監視制御する設備など) 2) 管理レベルの設定は妥当か。(施設の重要性、管理体制、運用上の課題の抽出と導入目的の明確化など) 3) 管理項目の選定は妥当か。(管理レベルや設備内容・重要性による項目の選定など) 4) 設備とのインターフェース条件は妥当か。(信号方向、信号区分、接続条件など)				
2	監視制御機能(排水機場を除く)	1) 管理対象施設は妥当か。(水門、遊水池、樋門・樋管、水文・水質観測施設、堤体、高水敷など) 2) 管理レベルの設定は妥当か。(施設の重要性、管理体制、運用上の課題の抽出と導入目的の明確化など) 3) 管理項目の選定は妥当か。(管理レベルや設備内容・重要性による項目の選定及び電動化の有無など)。 4) 設備とのインターフェース条件は妥当か。(信号方向、信号区分、接続条件など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
3	映像監視制御機能	1) 監視目的は妥当か。(施設監視、河川空間監視など) 2) カメラの設置場所は妥当か。(排水機場、水門、樋門・樋管など) 3) 監視対象範囲は妥当か。(内水側、外水側、ポンプ室、操作室など) 4) 設置環境条件は明確か。(屋内・屋外、温度・湿度条件、照明の要否など)				
4	処理機能	1) データ収集・演算項目は妥当か。(収集項目、施設の監視・制御に適した値・形式にするための処理など) 2) 警報判定項目は妥当か。(データ警報の種類・基準など) 3) 監視項目は妥当か。(施設管理上重要な項目など) 4) 処理結果の適用範囲は妥当か。				
5	データ管理機能	1) データ保存期間・項目は妥当か。(システム毎の保存期間、正時・定時・日集計データ、警報・異常・操作記録など) 2) データ管理の方式、データベース構造は妥当か。(上位システムとの統一化など)				
6	画像蓄積機能	1) 蓄積の目的、用途は妥当か。(監視記録、報告書への添付等) 2) 利用形態、蓄積方法は妥当か。(ネットワーク配信、一定周期蓄積、イベント蓄積など)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
7	情報提供画面及びヒューマンマシンインターフェース	1) 画面、帳票の種類は妥当か。(監視画面、制御画面、運用操作記録、日報、月報、年報など) 2) サーバと端末での機能分担、アクセス方式は妥当か。(C/S、Webなど) 3) 優先順位、セキュリティ管理方法は妥当か。(アクセスできる情報の種別、操作可能な設備の範囲、IPアドレスによる識別、ID・パスワードによる遷移など)				
8	周辺機器出力機能	1) 対象とする周辺機器は妥当か。(プリンタ、大型表示装置、電話応答通報装置など) 2) 周辺機器自体の機能は妥当か。(表示、印字、通報など) 3) 周辺機器とのインターフェースは妥当か。(TCP/IPなど)				
9	配信機能	1) 配信先、配信方法及び配信経路は妥当か。(河川情報システム、操作委託員、LAN間接続、専用線、ダイヤルアップ回線など) 2) 配信タイミングは妥当か。 3) データ項目は妥当か。 4) 通信インターフェースは妥当か。				
10	信頼性配慮	1) 連続運用の保証は妥当か。(エラー時の処理、部品構成、バックアップ機能、運用方針など) 2) 重要機能の冗長化は妥当か。 3) 障害波及防止対策は妥当か。 4) 障害情報の通知、記録、出力の機能は適切か。				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
11	関連機関との連携	1) 接続形態は妥当か。(国土交通省直営、地方自治体経由、商用サービスなど) 2) 情報交換内容は適切か。(河川情報など) 3) セキュリティは妥当か。(不正アクセス防止など)				
12	全体構成と機能分担	1) 対象システムは妥当か。 2) 具備する機能及び他システムとの整合は妥当か。				
12	遠隔監視制御系機器	1) 光中継伝送装置の入出力機能は妥当か。 2) 出張所/事務所との通信方式は妥当か。 3) 設置条件、環境条件は明確か。				
13	映像系機器	1) 監視対象、伝送路、伝送容量、ケーブル芯数は妥当か。				
14	サーバ系機器	1) サーバの種類と機能は妥当か。(集配信・制御機能、画像管理機能、情報提供機能など) 2) 信頼性への配慮は妥当か。(フェイル・オーバー、フォールトトレラント、RAID、クラスタなど)				
15	端末系機器	1) 端末の種別と配置は妥当か。(遠隔監視・制御端末、遠隔監視端末、一般端末など) 2) 機器の基本条件は妥当か。(適切な機器の採用、画面表示能力など)				
16	集配信ネットワーク	1) 河川管理施設システムと監視制御システム間の伝送方式は妥当か。 2) 集配信系ネットワークは妥当か。 3) 画像データのトラフィックは妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# レーダ雨(雪)量計システム 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点・追加事項があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 現地状況を把握したか。(地形、機器配置、搬入口、立地条件) 2) 伝搬上の遮蔽物を把握したか。 3) 電源の状況を把握したか。 4) 他の施設との関連を把握したか。 5) 自然条件を把握したか。(雨、風、雪、雷、地震) 6) 環境状況を把握したか。(騒音、振動など) 7) 周辺状況を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
4	設計基本条件	1) 必要条件を整理したか。(システムの整備目的、利用者、運用者、整備地域、設置場所、運用スケジュールなど) 2) 観測範囲及び観測精度を把握しているか。 3) レーダの種類は決定しているか。(標準、二重偏波、ドップラー、小型レーダなど)				
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1)電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	置局計画の設計	1) 設置場所は妥当か。(観測高度、観測範囲など)				
2	レーダ仰角の設計	1) レーダ仰角は妥当か。(山岳遮蔽、運用仰角、複数仰角運用など)				
3	センサ機能の設計	1) センサ機能は妥当か。(観測範囲、ビーム高度、観測精度)				
4	信号処理の設計	1) 信号処理の機能は妥当か。(受信電力、メッシュサイズ、平均数)				
5	収集処理機能の設計	1) 収集処理機能は妥当か。(サンプル数、通信容量)				
6	解析処理機能の設計	1) 解析処理機能は妥当か。				
7	記録処理の設計	1) 記録処理機能は妥当か。(内容、媒体、期間)				
8	監視機能の設計	1) 監視制御機能は妥当か。(項目、遠隔制御)				
9	合成処理機能の設計	1) 合成処理機能は妥当か。				
10	配信処理機能の設計	1) 配信機能は妥当か。(端末、全国合成)				
11	端末機能の設計	1) 端末機能は妥当か。(表示画面、地図情報)				
12	合成処理機能の設計	1) 全国合成機能は妥当か。(メッシュサイズ)				
13	タイムチャート	1) データの集配信時間は妥当か。(更新時間)				
14	レーダ基地局システムの設計	1) レーダ基地局システムの仕様は妥当か。(連続運転、データ処理、データ通信)				
15	合成処理機能システムの設計	1) 合成処理システムの仕様は妥当か。(冗長性、監視制御、記録装置)				

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
16	ネットワークの設計	1) ネットワークシステムの構築は妥当か。(通信プロトコル、迂回ルート、ルータの冗長性)				
17	端末装置の設計	1) 端末装置の仕様は妥当か。(視認性、拡大表示、記録期間、データ配信)				
18	無線局の設計	1) 無線局としての条件は妥当か。(使用周波数、無線設備に対する影響、送信電力、電波防護の規制など)				
19	局舎設備の設計	1) 局舎設備の条件は妥当か。(局舎の必要面積、レーダタワーの高さ、電源など)				
20	避雷対策の設計	1) 避雷対策の条件は妥当か。(避雷設備、接地など)				
21	電波防護の対策	1) 電波防護の条件は妥当か。				

# 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 ⑦メッシュ構成図 ⑧タイムチャート図 ⑨敷地平面図 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				

# 道路情報表示設備 詳細設計照査要領

平成31年3月

# 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
1	設計の目的・主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 拡張計画等の関連する計画を把握したか。 3) 設計の主な内容、工程などについて具体的方針を把握したか。 4) 特記仕様書に明記された設計条件・業務の範囲を確認しているか。 5) 業務仕様書と業務計画書の整合はあるか。				
2	貸与資料の問題点	1) 貸与資料の不足点、追加事項、不整合箇所等があるか。 2) 全体システム系統を把握できたか。				
3	現地踏査	1) 地形、地質、現地状況(電力引き込み位置の確認を含む)、土地所有者を把握したか。 2) 設置スペース、耐震方法、電源供給場所を把握したか。 3) 既設隣接構造物を把握したか。(光ケーブル配管・ルート・既設クロージャ及びハンドホール、水道管・ガス管、鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔、橋梁及びその添架構造物等) 4) 気象条件を把握したか。 5) 環境状況を把握したか。(植樹、住宅地、病院等) 6) 支障物件(架空横断物、埋設物等)の状況を把握したか。 7) 施工計画の条件を把握したか。(進入路等) 8) 既設設備(上位局を含む)の状況を把握したか。				

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				該当対象	照査	
3	現地踏査	9) 車両からの見え方、障害物の有無を確認したか。				
4	設計基本条件	1) 必要条件是決定しているか。(システムの整備目的、利用者・運用者、整備地域・設置場所・環境条件、基本機能・構成、実現方式、導入効果評価など) 2) 表示情報は整理しているか。(直轄道路情報、自治体道路情報など) 3) 設置条件是決定しているか。(装置の設置場所・設置方法、電源供給方式、予備電源又は停電対策の確保、雷害対策など) 4)各局システムの機能と情報の流れは整理したか。 5)ネットワーク条件(インタフェース条件含む)は整理したか。	設計条件検討書			
5	技術動向確認	1) 国内外の標準や規格、業界標準、関連技術の動向を把握したか。				
6	適用基準等	1) 適用した基準等を明確にしているか。また、適用基準等最新版となっているか。				
7	新技術	1) 新技術の採用検討をおこなっているか。				
8	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				
9	電子納品	1)電子納品の実施にあたって事前協議を行ったか。				

# 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付:平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

No.	項目	主な内容	確認資料	照査②		備考
				該当対象	照査	
1	道路情報表示制御装置	1) 制御方式は妥当か。 2) 伝送方式は妥当か 3) 伝送装置は妥当か。 4) 上位局、他機関等からの監視制御に係るシステムは妥当か。 5) 道路情報表示装置の登録内容は妥当か。	設計条件確認書			
2	道路情報表示装置	1) 道路情報表示装置の型式等は妥当か。(表示情報など) 2) 周辺機器は妥当か。(機側装置、避雷装置など) 3) 伝送方式は妥当か。(道路情報表示制御装置の伝送方式との整合) 4) 伝送装置は妥当か。(光ケーブル、メタルケーブル等) 5) 支柱の強度計算は妥当か。 6) 基礎の安定計算は妥当か。	設計条件確認書			

# 成果品の照査項目一覧表

## (照査③)

業務名: \_\_\_\_\_

発注者名: \_\_\_\_\_

受注者名: \_\_\_\_\_

照査の日付: 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
1	設計計算書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 計算結果は正しいか。(支柱強度など) 3) 施工を配慮した計算となっているか。 4) 計算に用いた基準類が明確か。				
2	設計図	1) 縮尺・用紙サイズ等は、共通仕様書と整合しているか。 2) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。 3) 各設計図が互いに整合しているか。 ①全体システム系統図 ②機器配置図 ③配線系統図 ④機器等構成図 ⑤機器据付図 ⑥配管配線図等 4) 寸法、記号等の表示は適正か。 5) 必要寸法、部材形状等記載漏れはないか。 6) 分かり易い注記が付いているか。				
3	数量計算書	1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算に用いた名称、寸法、規格等は図面と一致するか。 3) 数量とりまとめは、種類毎、材料毎、打合せ区分に合わせてまとめられているか。				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
4	施工整備計画	1) 施工法が妥当であるか。 2) 安全確保が配慮されているか。 3) 関係法令を遵守した計画になっているか。 4) 施工機械の種類、規格は妥当か。 5) 工事用道路、作業範囲の確保は適切か。 6) 運搬路計画は妥当か。				
5	技術支援資料	1) コストに関する事項は、整理されているか。 ①維持費・更新費も含めたライフサイクルコストについての検討 2) 工事目的物の性能、機能に関する事項は、整理されているか。 ①初期性能の持続性、強度、耐久性、安定性、美観についての検討 ②供用性等の性能、機能についての検討 3) 社会的要請に関する事項は、整理されているか。 ①騒音・振動・景観等の環境についての検討 ②規制車線数・規制時間・交通ネットワークの確保等の交通への影響についての検討 ③特別な安全対策についての検討 ④省資源対策・リサイクル対策等についての検討				

成果品の照査項目一覧表(様式-3)

No.	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				該当対象	照査	
6	特定する仕様の確認	1) 製作品の仕様について特定メーカーの仕様となっていないか。また、特定メーカーの仕様となっている場合には必要性を整理しており妥当性が確認できるか。				
7	報告書	1) 条件設定の考え方が整合しているか。 2) 比較・検討の結果が整合しているか。 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか。 4) 打ち合わせ等で指示された事項が反映されているか。				
8	電子納品	1) 土木設計業務等の電子納品要領(案)に則り作成しているか。 2) 電子納品チェックシステムでのエラー項目はないか。				
9	建設副産物対策	1) 作成したリサイクル計画書は妥当であるか。				
10	TECRIS	1) TECRIS の登録は行ったか。				